XLS DriveCore Series　パワーアンプ

XLS 1000, XLS 1500, XLS 2000, XLS 2500

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
この取扱説明書は、お読みになった後も、いつでも見られるところに保管してください。

■ 安全上のご注意

取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。以下の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。

⚠ 警 告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- 必ず AC100V(50Hz/60Hz) の電源で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。
- 必ず専用の電源ケーブルを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となり危険です。また、同梱された電源ケーブルは、他の機器に使用しないでください。
- 電源ケーブルの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったりしないでください。ケーブルが破損して火災や感電の原因となります。
- 確実にアース接続をしてください。また、アース線の脱着は電源を外してから行ってください。感電の原因となります。
- 濡れた手で、電源ケーブルや他の機器との接続ケーブルの抜き差しをしないでください。感電の原因となります。
- 分解や改造は行わないでください。お客様が保守できる部品は、内部にはありません。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。
- 煙がでる、異臭がする、水や異物が入った、破損した等の異常が起きたときは、ただちに電源を外し修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。

⚠ 注 意

人が傷害を負う可能性および物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

- 必要な電流容量を安全に供給できるよう、適切な電源回路を用意してください。
- 機器の重量に耐える強度を持った安定した場所に設置してください。また、ラックに設置する際は、前面パネルだけでなく背面パネルも固定してください。落下によるけがや故障の原因となります。
- 以下のような場所には設置しないでください。火災や故障の原因となります。
  直射日光のあたる場所 / 極度の低温又は高温の場所
  湿気の多い場所 / ほこりの多い場所 / 振動の多い場所
- 通気性の良い場所に設置し、機器の吸気口や排気口は絶対に塞がないでください。熱がこもって、火災や故障の原因となります。
- 機器の移動は、電源ケーブルや他の機器との接続ケーブルを全て外した上で行ってください。けがやケーブルの破損の原因となります。
- 他の機器との接続は、機器の電源を全て切ってから行ってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、各機器の音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴覚障害や機器の破損の原因となります。
- スピーカーの破損を防ぐため、電源を入れるときは一番最後にこの機器の電源を入れてください。また、電源を切るときは一番最初に電源を切ってください。
- 出力の配線は、電源を切ってから 10 秒以上たった後で行ってください。また、出力ケーブルがシャーシや他のケーブルとショートしないよう十分注意してください。感電や故障の原因となります。
- 大きな音量に連続してさらされると、聴覚障害の原因となります。音量の設定は慎重に行ってください。
- 長時間使用しないとき、または落雷の恐れがあるときは、電源ケーブルを取り外してください。火災や感電、故障の原因となります。

使用上不明な点や動作上問題があると思われたときは、ヒビノ株式会社　ヒビノプロオーディオセールス Div. にお問い合わせください。

ヒビノ株式会社
ヒビノプロオーディオセールス Div.
〒 108-0075 東京港区港南 3-5-12
TEL:03-5783-3110 FAX:03-5783-3111
E-mail: proaudiosales@hibino.co.jp

Ù èÍ

¤ æ w Ê ¶ q ; ó
¯ É « » ” • w €
« ¿ « µ » ” Ä ¨ Å
4 U F S # Z Q B T . P E F µ Â è ¦ Ì Í µ Þ ” Å
S J E H F . P O P E F Ò æ ¿ ´ Þ Ê Þ ” Å
$ S P T T P . W F E S F « é µ ¦ ” Ì ” Þ ” Å
) J H I 1 B T . T P E F Ë Í µ Þ ” Å
- P X 1 B T . T P E F é ” Í µ Þ ” Å
« é µ ¦ ” Ì ” æ Û ¿ » ”
Ý Ç á ” K À æ ”
“ 7

Ù a¼ w › Õ

Ó é w q Ô p ° w K ” ž Ü « é ï w Â « Ê é ´ ” › A B ` z Í ë ” q Ñ ¿ Ä ë ” « › I v ‹ Q h Œ w 4 3 ; Í ë ” ž ï Ó
p b { – F Û s å Ò Ë ¢ µ z « å Ò T ’ ¤ – F Û w ƒ ‹ ‡ p z ; M • q Ô t a o ® p $ s ³ µ Â Ü › Ï R p V ‡ b {

Ô Ò 0 ” ƒ -
¤ Þ Ã ç q ‹ Ã Š o 0 ” {
? o æ t ô ® p s µ ¿ ½ ï ¬ ? o s Ï › d Ö b ” \ q p z Z — Í ë ” › % b ” \ q s X * ` h 0 ” = t R - {
ˆ ~ á V U µ Ü ” ¶ t æ Q z ó : F › ƒ ” b ” Ô ù p ‹ z ƒ ” š Ø w 1 Y O w Û r › 0 n {

Ô ý U [% S J W F $ P S F ä ¡
C ? ; • ° Ì + é s r w * % ; + w è ¹ p Æ † t s l h " $? o < p ‹ × t † ` h ˆ ^ › ¬ - {
> ƒ w q Ô s r a s ¥ t S M o ‹ z y W $ s Z — Q ó › 7 G v t C 4 {

Ô 1 V S F # B O E ä « é µ ¦ ” Ì ”
~ ô ^ S w - J O L X J U [3 J M F Z Ñ Ÿ ç » ” p ô ¬ ÿ ¬ Å å Ì ” w ³ ” Ü è µ s ü Â › î q ` h 1 V S F # B O E ä « é µ ¦ ” Ì ” › e L {
~) [™ L) [w p P D U] q t Ú ™ w « é µ ¦ ” Ì ” Ù ï Ä › ƒ D ó {
~ « é µ ¦ ” Ì ” é ” Í µ Ë Í µ Ò æ ¿ ´ q M O m w Ó æ · ¿ Ä › ; ™ {

Ô 1 F B L Y ä æ Û ¿ » ”
ê ^ w C \ • ³ ß ¿ Ä ¼ ¢ ï › „ q œ r l \ ^ c t µ Ð ” § ” › - ¢ {

Ù - Â t m M o

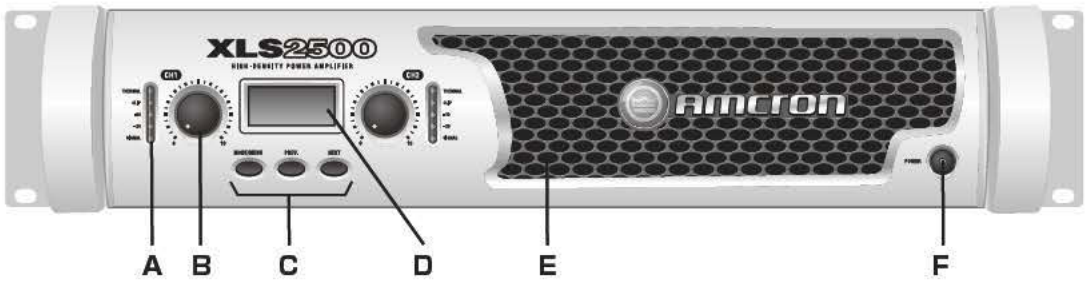
~ - Â { x ž c ® S M Í [å D Ô ® S M Í [3 Ê t O • ¯ w G Ö ›] ¬ Ý M h i V z a ¼ q q ‹ t S ! Z “ X i ^
M { S M Í [Ô ‘ “ å x - Â 8 p b { - Â { G L Ä ò t , n V z Á ^ . g s › - Â ^ d o M h i V ‡ b { . g s
x S M Í [w b 3 ‡ p] ‘ T X i ^ M {
~ S M Í [Ì t ® S M Í [å D Ô ® S M Í [3 Ê t O • ¯ U Y ` X G Ö ^ • o M s M Ô ù x z - Â { U Á ® t s “ z
Á ^ . g › ! Z ’ • s M \ q U K “ ‡ b { G L º 0 U Æ G ü p ` h ’ z • T t b 3 t S ð M ù ˜ d X i ^ M {
~ ~ s r è × w – ; c “ › Ò Q h { M t ‘ ” , Ë • z ƒ - ~ a Ž Ž w A ¼ p I V h Æ N ù x 8 º p K l o ‹ - Â w
0 Å Ž q s “ ‡ b {

Ù , Ë T s • q ¥ ˜ • ” ± Ý U Z h q V x

\ j ’ w { † Ì { › ‹ O ° S S ¡ ˆ t s “ z € • â ^ s r ›] ¬ Ý X i ^ M { f • p ‹ ~ ³ ^ • s M q V x S M Í [
w b 3 ‡ p S ð M ù ˜ d X i ^ M { Ð T ~ . g M h ` ‡ b {

■ 各部の名称と機能

前面パネル



A. インジケーター（各チャンネルに1系統）

Thermal インジケーター：
過熱状態になるとLEDが赤く点灯します。

Clip インジケーター：
出力が過負荷状態になると、LEDが赤く点灯。常に点灯しているときは、出力レベルを下げてください。

−10 インジケーター：
出力がクリップレベルの− 10dB前を超えると緑のLEDが点滅。

−20 インジケーター：
出力がクリップレベルの− 20dB前を超えると緑のLEDが点滅。

Signal インジケーター：
− 40dBu以上の入力信号があれば緑のLEDが点滅。

B. レベルコントローラー（各チャンネルに1系統）
クリック付きの回転式レベルコントローラーです。

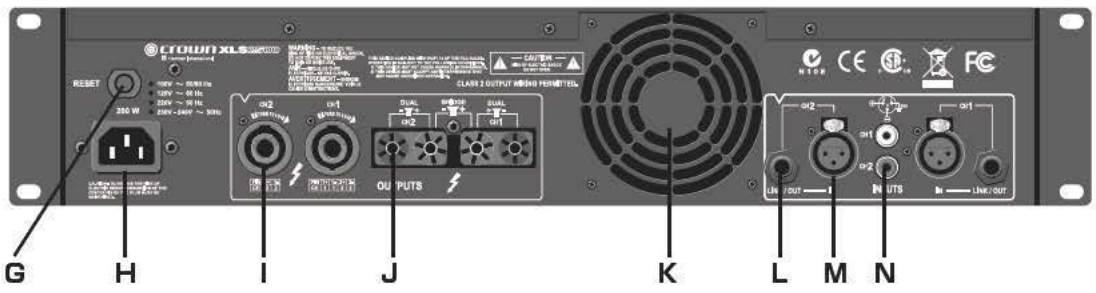
C. Menu/Prev/Next
液晶画面上のメニュー項目の操作に使用します。

D. バックライト付き液晶ディスプレイ
クロスオーバー、モード、リミッターの設定状態を表示。

E. グリル
冷却ファンの空気の吸い込み口です。絶対にグリルをふさがないでください。

F. 電源スイッチ
パワーアンプをオン / オフします。

背面パネル



G. リセットボタン
ブレーカーをリセットします。

H. 電源入力コネクター
電源ケーブルを取り付けます。

I. スピコン（Speakon）出力コネクター
ノイトリック製 NL4MP スピコン端子（NL4FC に適合）。CH1のスピコンは、1つのコネクターで両チャンネルに接続できます。CH2は、チャンネル2の接続が可能。（次頁「コネクターへの接続」参照）

J. バインディングポスト出力コネクター
スピーカーを接続するコネクターです。バナナプラグ、スペードラグ、先バラケーブルで接続できます。（次頁「コネクターへの接続」参照）スピコンと並列になっています。

K. ファン
空気を前面から吸い込み背面へ送り出し、本体を冷却します。

L. 標準フォーンコネクター（各チャンネルに1系統）
標準フォーンコネクター。音声信号を入力します。

入力コネクターからの信号を他のアンプへリンクするためのLINK ／ OUT 端子としても機能します。

M. バランスXLR入力コネクター（各チャンネルに1系統）
3ピンメス XLR コネクター。音声信号を入力します。（次頁「コネクターへの接続」参照）

N. RCA 端子（各チャンネルに1系統）
RCA コネクター。音声信号を入力します。

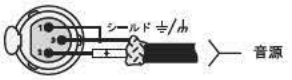
■ コネクターへの接続

バランス XLR 入力コネクターへの接続

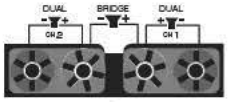
バランスケーブルの場合

1: グラウンド
2: +(プラス)
3: −(マイナス)

アンバランスケーブルの場合



バインディングポストへの接続



先バラケーブル、バナナプラグの２種類を接続できます。

●先バラケーブルの場合
ノブをゆるめ、絶縁部をはがしたケーブルを穴に差し込み、しっかりしめつけます。

●バナナプラグの場合
ノブを強くしめてから差し込みます。

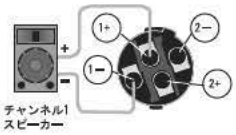
スピコン出力コネクター

使用するケーブルコネクターは NL4FX。

※スピコンを使用する場合、次の２通りの方法があります。どちらかの方法を選択してください。

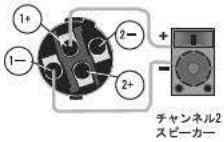
① 両方のコネクターを使用し、チャンネル１とチャンネル２にそれぞれスピーカーを接続します。

●上のコネクター（チャンネル1）



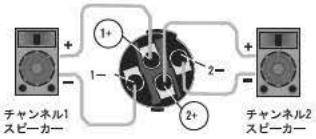
チャンネル	1	
極性	+	−
スピコンのピン番号	1+	1−

●下のコネクター（チャンネル2）



チャンネル	2	
極性	+	−
スピコンのピン番号	1+	1−

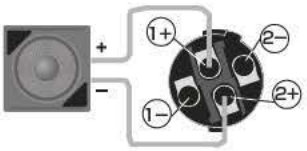
② 右のコネクター（チャンネル１）のみを使用し、チャンネル１とチャンネル２にそれぞれスピーカーを接続します。



チャンネル	1		2	
極性	+	−	+	−
スピコンのピン番号	1+	1−	2+	2−

※スピコンを使用してブリッジモードでドライブする場合

右のコネクター（チャンネル１）のみを使用し、チャンネル１＋とチャンネル２＋にスピーカーを接続します。



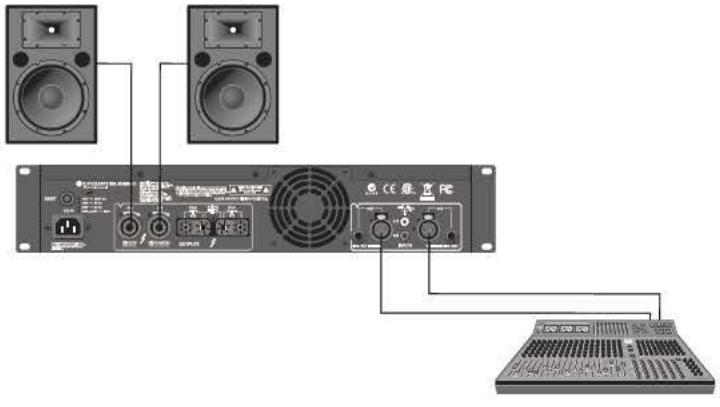
極性	+	−
スピコンのピン番号	1+	2+

■ クイックスタートガイド

● Stereo Bypass Mode（ステレオバイパス モード）

工場出荷時の設定です。PureBand™ クロスオーバーは、機能していません。

1. 標準フォーンコネクター、XLR コネクター、RCA コネクターのいずれかを使用して左右の音声信号をチャンネル1とチャンネル２に接続します。
2. スピコン、バナナプラグ、先バラケーブルのいずれかを使用してスピーカーに接続します。



■ クイックスタートガイド（続き）

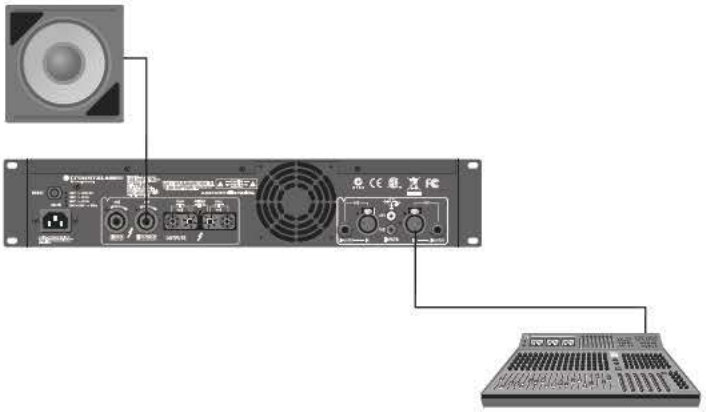
● Bridge-Mono Mode（ブリッジモノ モード）

ブリッジモードでドライブするときは、ステレオモードの２倍の出力電圧で、1つのスピーカーをドライブします。

※ スピコン出力コネクターの１チャンネルのみを使用し、スチャンネル１のレベルコントロールのみを使用します。

※ バインディングポスト出力コネクターを使用する際は、音が歪むため黒のターミナルは絶対に使用しないで下さい。

※ 接続可能な負荷インピーダンス（スピーカー）は４Ω以上です。



まず以下の項目を確認してください。

1. チャンネル1の標準フォーンコネクター、XLR コネクター、RCA コネクターのいずれかを使用して音声信号を入力します。
2. いずれかの方法でスピーカーに接続します。
   a) バインディングポスト出力コネクターを使用する場合は、赤いターミナルを両方使用します。チャンネル１の赤いターミナルが ＋（プラス）、チャンネル２の赤いターミナルが －（マイナス）になります。(p .5「コネクターへの接続」参照)
   b) スピコン出力コネクターを使用する場合は、チャンネル１のみを使用します。チャンネル1+とチャンネル2+にスピーカーを接続します。(p .5「コネクターへの接続」参照)

『ブリッジモノモード」の簡単な設定方法

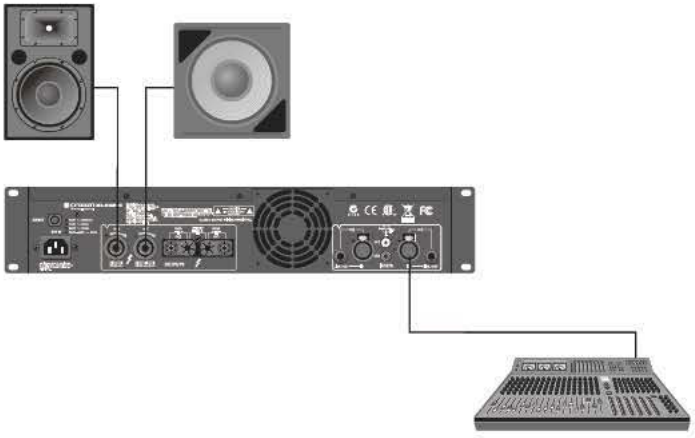
1. 液晶ディスプレイに "Amp Mode<More>" と表示されるまで、"Mode/Menu" ボタンを約３秒間長押しします。
2. "Mode/Menu" ボタンを押して、アンプのモードを設定します。
3. 液晶ディスプレイに "Mode : Bridge" と表示されるまで、"Next" ボタンを押します。
4. "Mode/Menu" ボタンを押して、決定します。
5. 液晶ディスプレイに "Bypass" と表示されるまで、"Next" ボタンを押します。"Mode/Menu" ボタンを押して、決定します。液晶ディスプレイに "Bridge Bypass" と表示されます。

● Crossover Mode（クロスオーバー モード）

クロスオーバーモードを使用するときは、チャンネル1にローパスフィルターを、チャンネル２にはハイパスフィルターを設定してください。

まず以下の項目を確認してください。

1. 入力はチャンネル1のみを使用します。標準フォーンコネクター、XLR コネクター、RCA コネクターのいずれかを使用して音声信号を入力します。
2. スピコン、バナナプラグ、先バラケーブルのいずれかを使用してスピーカーに接続します。



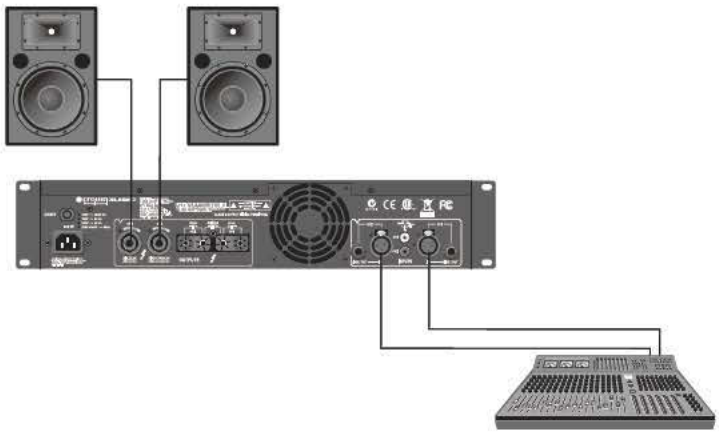
『クロスオーバーモード」の簡単な設定方法

1. 液晶ディスプレイに "Amp Mode<More>" と表示されるまで、"Mode/Menu" ボタンを約３秒間長押しします。
2. "Mode/Menu" ボタンを押して、アンプのモードを設定します。
3. 液晶ディスプレイに "Input Y" と表示されるまで、"Next" ボタンを押します。"Mode/Menu" ボタンを押して、決定します。
4. 液晶ディスプレイに "XOVER" と表示されるまで、"Next" ボタンを押します。"Mode/Menu" ボタンを押して、決定します。
5. "Previous" または "Next" ボタンを押して任意のクロスオーバーポイントを設定します。
6. クロスオーバーポイントを決めたら、"Mode/Menu" ボタンを押して、決定します。液晶ディスプレイには、"Input Y XOVER" と表示されます。

■ クイックスタートガイド（続き）

● HighPass Mode（ハイパス モード）

ハイパスモードを設定したときは、選択された周波数でチャンネル1とチャンネル2にハイパスフィルターがかかります。



まず以下の項目を確認してください。

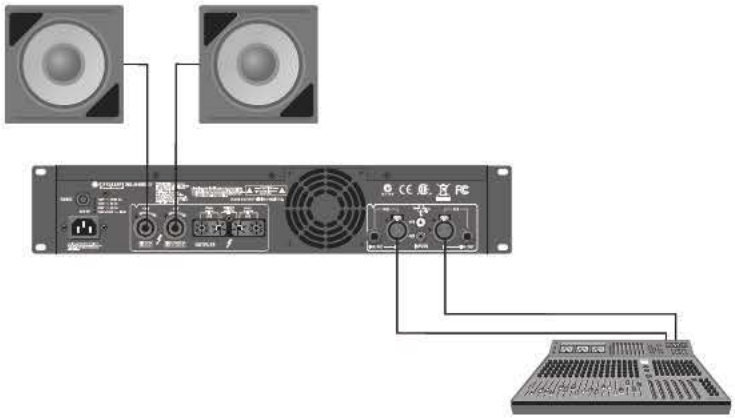
1. 標準フォーンコネクター、XLRコネクター、RCAコネクターのいずれかを使用して左右の音声信号をチャンネル1とチャンネル2に接続します。
2. スピコン、バナナプラグ、先バラケーブルのいずれかを使用してスピーカーに接続します。

『ハイパスモード」の簡単な設定方法

1. 液晶ディスプレイに "Amp Mode<More>" と表示されるまで、"Mode/Menu" ボタンを約3秒間長押しします。
2. "Mode/Menu" ボタンを押して、アンプのモードを設定します。
3. 液晶ディスプレイに "Stereo" と表示されるまで、"Next" ボタンを押します。"Mode/Menu" ボタンを押して、決定します。
4. 液晶ディスプレイに "HighPass" と表示されるまで、"Next" ボタンを押します。"Mode/Menu" ボタンを押して、決定します。
5. "Previous" または "Next" ボタンを押して任意のクロスオーバーポイントを設定します。
6. クロスオーバーポイントを決めたら、"Mode/Menu" ボタンを押して、決定します。液晶ディスプレイには、"Stereo HighPass" と表示されます。

● LowPass Mode（ローパス モード）

ローパスモードを設定したときは、選択された周波数でチャンネル1とチャンネル2にローパスフィルターがかかります。



まず以下の項目を確認してください。

1. 標準フォーンコネクター、XLRコネクター、RCAコネクターのいずれかを使用して左右の音声信号をチャンネル1とチャンネル2に接続します。
2. スピコン、バナナプラグ、先バラケーブルのいずれかを使用してスピーカーに接続します。

『ローパスモード」の簡単な設定方法

1. 液晶ディスプレイに "Amp Mode<More>" と表示されるまで、"Mode/Menu" ボタンを約3秒間長押しします。
2. "Mode/Menu" ボタンを押して、アンプのモードを設定します。
3. 液晶ディスプレイに "Stereo" と表示されるまで、"Next" ボタンを押します。"Mode/Menu" ボタンを押して、決定します。
4. 液晶ディスプレイに "LowPass" と表示されるまで、"Next" ボタンを押します。"Mode/Menu" ボタンを押して、決定します。
5. "Previous" または "Next" ボタンを押して任意のクロスオーバーポイントを設定します。
6. クロスオーバーポイントを決めたら、"Mode/Menu" ボタンを押して、決定します。液晶ディスプレイには、"Stereo LowPass" と表示されます。

Ù «é µ¦"Ì" æÛ¿»"

Ô 1VSF#B5O«Eé µ¦"Ì"³µÂÜ

1VSF#B5O«Eé µ¦"Ì"³µÂÜxz E# PDU w-JOLXJU[3JMFZ wÑŸç»"›>;`oS"z ITL)[w
p PDU]qt«é µ¦"Ì"Ù ïÄ›ƒ pV‡b{

«é µ¦"Ì"Ù ïÄ

)[ )[ )[ )[ )[ )[ )[ )[ )[ )[ )[ )[ )[ )[ )[
)[ )[ )[ )[ )[ )[ )[ )[ )[ )[ )[ )[ )[ )[
)[ )[ )[ )[ )[ )[ )[ )[ )[ )[ )[ )[
)[ )[ )[ )[ )[ )[ )[ )[ )[L)[L)[L)[L)[
L)[L)[L)[L)[L)[L)[L)[L)[L)[L)[L)[L)[
L)[L)[L)[L)[

mwÓæ·¿Ä Þ"Å¢Q ®« ¿«µ»"Ä¨ Å¯€°£

$SPTTPWPFESF¢½ßïÉç ¹-1'z½ßïÉç ¹)1'
ƒ `h*þ:pz½ßïÉç té"ÍµÑŸç»"z½ßïÉç tË ÍµÑŸç»"UTT"‡b{
Þ\wÞ"Åtb"qz×^$t *OQVU :¡Þ"Åts"‡b{

-PX1BT.TPEF¢½ßïÉç ¹-1'z½ßïÉç ¹-1'
ƒ `h*þ:pz½ßïÉç q½ßïÉç té"ÍµÑŸç»"UTT"‡b{

)JHI1BT.TPEF¢½ßïÉç ¹-1'z½ßïÉç ¹-1'
ƒ `h*þ:pz½ßïÉç q½ßïÉç tË ÍµÑŸç»"UTT"‡b{

#SJEH.HFFEF¢-1'T)1'wrj'T
ƒ `h*þ:pz½ßïÉç q½ßïÉç té "Íµ‡hxË ÍµÑŸç»"UTT"‡b{

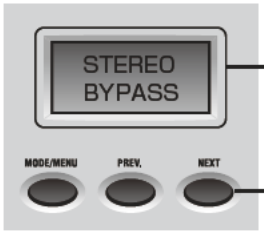
Ô 1FB⊥5· æÛ¿»"

1FB⊥5· $MJQ æÛ¿»"xzµÐ"§"›-¢`sU'7GZ—› ™`‡b{½ßïÉç–t0O 0''wƒ UDópb{
Þ 1FB⊥5· $MJQ æÛ¿»"xz0/¡wÝ6pZY^•oM‡b{

1FB⊥5· $MJQ æÛ¿»"wTZM xc`M
}÷¥ÃŸµÓè t "NQ .PEF .PSF ¡q¯Ô^•"‡pz.PEF .FOV¡Ø»ï›ÿ µ Õ!``‡b{
/FYU¡Ø»ï›!bqz÷¥ÃŸµÓè t $) $MJQ .PSF ¡q¯Ô^•‡b{
.PEF .FOVØ»ï›!`FYUØ»ï›!`o0/ 0''›~"8Q‡b{.PEF .FOVØ»ï›!`oz `‡b{
½ßïÉç wƒ U4~"q×^$t $) $MJQ .PSF ¡whØt "‡b{½ßïÉç wƒ wqVq‰a'Otz
½ßïÉç wƒ ›`‡b{

■ メニュー・ツリー

クロスオーバーとリミッターの ON/OFF の設定は、
液晶画面とメニュー操作ボタンで行います。



液晶画面
上：アンプのモード
下：フィルター

操作ボタン
左：MODE/MENU (M/M)
中：PREV (P)
右：NEXT (N)

電源を入れる

STEREO BYPASS 前回使用していた設定

M/M ３秒長押し

AMP MODE <MORE>

M/M

MODE STEREO 現在のアンプモード

MODE BRIDGE ⇔ **MODE INPUT Y**

BRIDGE のときの Peak$_x$™リミッター設定は、以下のどちらかにしてください。

- CH1 : ON / CH2 : ON
- CH1 : OFF / CH2 : OFF

アンプモードの設定

CH1 CLIP <MORE> ⇔ **CH2 CLIP <MORE>**

CH1 CLIP ON ⇔ **CH2 CLIP ON**

CH1 CLIP OFF ⇔ **CH2 CLIP OFF**

STEREO BYPASS

画面表示は変化なし

Peak$_x$™ リミッター ON/OFF の設定

M/M

FILTER BYPASS 現在のフィルター

FILTER LOWPASS ⇔ **FILTER HIGHPASS** ⇔ **FILTER XOVER**

※ BRIDGE モードのときは表示されません。

※ P、N ボタンで任意の周波数に設定する

FREQ ○○ Hz

BRIDGE LOWPASS / **STEREO HIGHPASS** / **INPUT Y XOVER**

※新しい設定に変更

フィルターの設定